



施設長トーク アドルフ・ヒトラーの影

何気に言葉として使っているアスペルガー症候群(発達障害、自閉症スペクトラム障害の一つ。知的に高い分類として使われることがある)という診断名称であるが、この名称は、オーストリア人小児科医のハンス・アスペルガー医師の業績が認められ彼の死後、その名にちなんでアスペルガー症候群との名称がつけられたと聞く。最近の研究者(オーストリア・ウィーン医科大学のヘルビヒ・チェフ氏)が専門誌(Molecular Autism)に論文発表している内容によると、アスペルガー医師は、強制的な不妊手術を含む民族の浄化政策を公に正当化し、ナチス・ドイツの子どもの安楽死プログラムに「積極的に協力」していたことが明らかになったとする研究論文が4月19日に発表されたとの記事を見た。これによりナチスの嫌悪すべき優生学と安楽死政策を積極的に支援していた罪があるという意見や用語としての「アスペルガー」の使用を止めるよう呼びかけが出ているそうである。歴史の中で権力に迎合したり、正義を見誤ると人の命



さえ奪うことが簡単にされてしまう一つの事実を見たように思う。戦争を経験している日本でも似たような事件が戦争犯罪という形で時々報道されることがある。今を生きる日本人が、窮屈な環境でない場における自由な発言や研究が進み、諸外国との歴史観の摺合せが未来に向かって進むことを切に願う。いつも社会的弱者が犠牲にならないように。

多機能型障がい福祉サービス事業所えーる油山 管理者 小関 正利

なかま CHANNEL

◆ 4/7(土)平成 30 年度えーる油山入所式を行ないました。

3 月からえーる油山で移行支援として実習を始め、えーる油山での作業や活動に参加していた新しい仲間が、平成 30 年度 4 月に 2 名入所されました。

入所式では緊張した表情も見られましたが、先輩となる仲間たちも新しく入所する仲間たちも、落ち着いて式に参加し、えーるの歌を皆で声を合わせて歌うことができました。(支援員 穴井)

☆『えーる油山 やさいのうた』☆

今年度からえーる油山で農作業を開始するにあたり、葦の家保護者の方に作曲をお願いし、歌詞を仲間たちで考え、この度『えーる油山 やさいのうた』が完成しました♪機会があれば是非えーる油山に聴きにきてくださいね♪

(支援員 大坪)



○フェルトボール納品○

4/19(木)、周船寺にある『エアープランツ天狗堂』さんにフェルトボールの納品に仲間たちと行って来ました。商品の一部にフェルトボールを使っていただけることになり、毎月 0.5gと 0.3gを納品することになっています。

(支援員 竹下)

◇5月の予定

- 2日 ハローデイ春日店バザー
- 3・4日 どんたくバザー(城南区演舞台)
- 8日 ハローデイ橋本店バザー
- 10日 ハローデイ姪浜店バザー

- 17日 ハローデイ周船寺店バザー
- 20日 つくしんぼ祭り
油山クリーン作戦
- 24日 ボンラパス薬院店バザー

